

有害鳥獣について



高宮今朝秀

の補助金を利用していただいています。

内牧中央公園について

高宮 6月議会でも、要望しておりました内牧中央公園内から古川の周りの整備について、何か検討はされているのか。

高宮 有害鳥獣の被害状況は。
本山農政課長 人的被害はありませんが、農作物の被害が主で、猿、鹿、猪、カラス、狸、雀、カワラヒワ等の被害が出ており、年々増加傾向にあります。

高宮 被害予防防止駆除について、駆除、捕獲等に本市から補助金が出ているが、その内容は。

農政課長 報奨金という形で捕獲等に対し、猿が一頭につき3万円、鹿が8千円、猪に3千円を補助しており、その他に自己防衛のための電気柵等の設置に対して2分の1補助(上限3万円)を行っております。
高宮 有害鳥獣の捕獲等に四輪駆動車で山道に入り、道路の損傷が著しい。捕獲等は必要だが、道路の整備・補修に原材料の支給は出来ないのか。

経済部長 平成18年まで原材料等の支給を行っていましたが、19年度から農地水環境保全向上対策事業が始まり、地域地域で工夫して、そ



波野の有害鳥獣防護柵

井野企画振興課長 6月議会でも提案・提言という形で受けておりますが、公園のリニューアルにつきましては多額の費用がかかりますので、有効な補助金を利用し、なるべく早い時期に素案を提示できるように今後も取り組んでまいります。

阿蘇駅前不動産取得について



阿部樹範

指摘してある。1点目は家主が借家人(スタートラベル)へ支払うべきであり、市が直接借家人へ支払ったことへの指摘であるがどう考えるか。

総務部長 通常はそうするが、このような方法も出来るということでの会計検査も了解されています。

阿部 2点目は、NPO法人には支払っていないとの事だが、監査報告では200万円支払ってあると指摘されているが。

総務部長 監査委員さんにも説明し理解されたので訂正されると思っておりました。そういう意味では誤解があると思います。

阿部 市長は、どう思われるか。
市長 誤った事が出ていいるなら、訂正されると思います。

阿部 購入の目的と事業の名称及び補助率等は。
総務部長 駅前のロータリーと公園整備を目的とし、国の交通安全施設整備事業で対応しています。補助率は、国55%で残りは市債と一般財源で対応しました。
阿部 2社が入居されていたが、入居年数と支払い金額は。
総務部長 スタートラベルは約20年、NPO法人は1年程度と異なります。支払いはスタートラベルのみで205万円支払いました。
阿部 阿蘇市のホームページの21年度の監査報告では2点の疑問点がある



整備中の旧藤原旅館跡地

九州新幹線全線開業に伴う阿蘇市の対策について

五嶋 義行



乗りの合点タクシーについて

五嶋 尾ヶ石路線は、バスに多額の補助金を出すより、乗り合いタクシーの方が財政的にもいいのでは。

五嶋 熊本駅から阿蘇まで現状だと車、JRでも1時間半程かかるが、スムーズに来る手立ては。

吉良商工観光課長 現在豊肥線の中で観光列車1962号が運行しており、新たな観光列車の運行をJR九州に要望しています。

五嶋 新幹線の開業を見据えた盛り上がりについては。

商工観光課長 新幹線の開業日に合わせて、阿蘇の火祭りを計画しております。

五嶋 22年産米の米価決定のプロセスは、今年から始まった戸別所得保証の効果は。

本山農政課長 今年の概算価格は昨年と比べてコシヒカリ一等で1俵2千7百円値下がりしておりますが、これは全国的な米余りと、戸別所得保証による1万5千円の収入があるため業者が値を下げてくるものと予想されております。

健康づくりの郷事業について

井野企画振興課長 乗車率の低い路線につきましては、現状を十分把握した上で、特に内牧・赤水間の路線バスを廃止するにあたり乗合タクシーへの移行を来年10月を目処に考えています。

五嶋 現在の進捗状況は。

商工観光課長 健康づくりの里事業は新幹線対策の目玉であり、外部からの意見を地元の人達と一緒にやって商品や、サービスを作るのが重要です。



宮地駅前モニュメント

「どうなる！仙酔峡ロープウェイ」

藏原 博敏



来ています。

火口見学的安全対策について

藏原 観光客に亜硫酸ガスの被害を与えないためにトンネルから火口見学をしてもらうという計画は、防災と観光の面からも大変ユニークで大きな観光資源に付加価値をつけるものと期待している。計画の進捗状況は。

佐藤総務課長 業者と委託契約を結んでおり、防災協議会の審議を受ける段階で、防災協会の意見を聞いて最終的な方向性を策定したい。11月中旬に計画書が示せると思います。

他に、「草千里周辺整備について」質問がありました。

渡邊経済部長 精算を視野に、経営から退くといった答申だが経営面からの判断であり東阿蘇観光のシンボルとしての歴史を重く受けとめ、阿蘇市観光全体の中の役割も検討していきたいと思えます。

藏原 民間譲渡による運営はできないか。実現すれば雇用の継続にもつながるが。

経済部長 第三セクターの施設だから会社の役員会で方向性を決めていくと思います。これまで多額の投資をしており民間譲渡の道も視野に入れ、現在、数社から問い合わせが



仙酔峡ロープウェイ